

## 1. はじめに

学校経営は「教育目標の実現を目指し、全教職員が組織的な教育活動を展開し、生徒の能力を高める営み」である。学習指導要領、県学校教育指導指針、市学校教育ビジョン『心豊かで優しさあふれるふえふきの子』を受け、基本目標である「生きてはたらく力」を身に付けた子ども、**人やふるさとを大切に**する子どもを育成する学校教育を推進しなければならない。

本校経営方針として、「**生徒一人一人が自分の持ち味を十分に活かし、人間力を高める場としての学校教育を創造し、実践していく**」ことを念頭に置く。学校教育に求められる教育機能を果たすと共に、変化にとんだ世の中の適切に対応できる「持続可能な社会の創り手」を育成する役割を真摯に果たすことを掲げる。

## 2. 一宮中学校のめざす学校像・学校教育目標（めざす生徒像）・めざす教師像

テーマ：『**明るく、元気に、たくましく**』

## (1) めざす学校像（我が子を通わせたい学校）

- ①生徒一人一人が自分の持ち味を發揮し、**人間的に成長**していく学校
- ②全ての教育活動は生徒を基点に考える（生徒が学校の主役）（**生徒が考える時間も確保**）  
「生徒にとって良いことか・悪いことか」を価値判断の基準とする。
- ③地域・生徒・保護者の期待・信頼に応えられる学校
- ④常に環境が整っている学校

## (2) 学校教育目標（めざす生徒像）

- ①深く考え、常に真実を求める生徒
- ②健康で勤労を愛好する生徒
- ③共同して物事をやりぬく生徒
- ④自主的で実践性に富む生徒
- ⑤豊かな心情を持つ明るい生徒

## (3) めざす教師像

- ①切磋琢磨する教師
- ②自己研鑽に励む教師
- ③子どものせいにしない教師
- ④我が子の担任であってほしい教師
- ⑤**自分も同僚も大切に**する教師

## 3. 学校計の基本方針

山梨県学校教育指導指針、笛吹市学校教育ビジョンをもとに、特色ある学校を創造するために、地域の状況・生徒の実態等を活かした教育課程の編成・実施・検討・改善に努め、協働指導・援助体制を確立し、次の内容に取り組み学校教育目標の具現化を図る。

## (1) 「確かな学力の定着」

- ・「**知識・技能**」の確実な習得と「**思考・判断・表現力**」の育成
- ・ICT]を活用し、**主体的・対話的で深い学び**を得られる学習活動の推進  
（「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実）
- ・粘り強く取り組み、**自らの学習を調整**する態度の醸成

## (2) 「豊かな人間性」の育成

- ・豊かな心（思いやり・感謝・素直な心）を持ち、善悪の判断のできる生徒の育成と基本的生活習慣の確立

## (3) 「健全な心身の育成」

- ・心身共に健康で自他の命を大切に**する**生徒の育成

## (4) 「開かれた学校の創造」

- ・学校と保護者・地域社会とのさらなる連携と協働ができる学校の創造